トレース（Trace）日本橋 2027 （気軽に Trace! いつかは Fleche!!）青字 2026 年との変更点

参加案内

2026/10/31

－ 目次 －

Ⅰ. トレース（Trace）とは ---------- 1
Ⅱ. 概要 ---------- 1
Ⅲ. トレース（Trace）の理念について ---------- 2
Ⅳ. 申込から出走まで
1. チーム編成 ---------- 2
2. コース設定と認定距離 ---------- 2
3. 出走、ゴール、ナイスプレイス受付 ---------- 3
4. 申込・参加費の送金 ---------- 4
Ⅴ. 出走からゴールまで
1. トレース（Trace）の催行決定 ---------- 5
2. 出走 ---------- 5
3. ゴール ---------- 5
Ⅵ. 認定 ---------- 5
Ⅶ. [付録]トレース日本橋 コース申請 判断基準について－6
Ⅷ. 参考 AR 日本橋翻訳によるトレース趣旨・規定 ---------- 6
Ⅸ. 感染症拡大の場合の対応 ---------- 9

Ⅰ. トレース（Trace）とは

トレース（Trace）とは、フランス語で「道筋、轍」という意味を持つ単語で、フレッシュと同時に、毎年復活祭の週末に開催されています。

フレッシュは各地のサイクリストが1つの目標に向かって集まるもので、共通の最終目的地に向かって 24 時間で 360km 以上のできるだけ長い距離を走るチーム・ライドです。1 チームは 3-5 台の自転車で編成され、最低でも 3 台の自転車が一緒に 24 時間走り抜くことが要求されています。

トレースはフレッシュの妹分であり、1 チームは 2-6 台の自転車で編成され、フレッシュよりも短い距離(最短で 200km、最長で 360km)で、走行時間の制限は緩やか(最長は AR 日本橋トレースの場合の 34 時間)で、休憩時間の制限はありません。宿泊を挟んでの走行や、日中だけ走ることを選ぶことのできる、チームライドを楽しむためのイベントです。

トレースとフレッシュを同時に開催することにより、より多くのサイクリストが集い、その集いはさらに盛大になります。そしてナイスプレイスに一同に会し、お互いの完走を祝福しあうのです。

Ⅱ. 概要

1. **カテゴリー** ： Trace Japon （200km 以上 360km 以下、制限時間 34 時間）
2. **実施日** ： 2026/4/4（土）0:00（≒金曜の深夜） － 4/5（日）10:00
3. **ナイスプレイス地点**：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町 3-1）
4. **ナイスプレイス受付時間**： 2026/4/5（日） 9:00 － 11:50
（ゴール手続き申請の受付終了：11:00）
5. **申込期間** ： 2025/11/01(土) － 12/31(水)

＊申込順にコース精査を開始し、コース精査が完了し、参加費送金が完了した時点で申込確定とします。

7. **参加資格**

1） 20 歳以上のサイクリストで編成されたチームであること。

2） チーム編成：最低 2 台、最高 6 台の自転車で編成されたチームであること。

3）すべての参加者は、BRM/AJ 規定を熟読し理解していること。
（https://www.audax-japan.org/brevet/brm/brm-part-regulation/）

4） すべての参加者は、オダックス・ジャパンによるトレース趣旨・規定（後日 AJ ホームページに掲示予定）を熟読し理解していること。

・参考 AR 日本橋翻訳によるトレース趣旨・規定：本案内書 P.6

5） すべての参加者は、本書 トレース日本橋 参加案内を熟読し理解していること。

6） チームリーダーは、前述の 3)～5)、および「トレース日本橋 コース申請 判断基準」(p.5)を熟読し理解したうえで、コースを設定・申請をすること。

7） すべての参加者は、オダックス・ジャパンが定める “BRM 出走に必要な賠償付き保険に加入していること。
（2018 年より賠償責任保険金額が 5 千万円以上から 1 億円以上に引き上げられました。詳細案内 http://www.audax-japan.org/brm/insurance/）

8）すべての参加者は、AR 日本橋による「感染症防止策」を熟読し遵守すること。
https://www.ar-nihonbashi.org/measures-to-prevent-covid-19-infectious-diseases-by-ar-nihonbashi/

8. **定員**

1） 定員 ： 200 人（会場受付のみ）

※同時開催のフレッシュ参加者を含めての定員。

2） 参加受付手順

・参加申込のあった順に提出書類の確認とコースの審査を行い、審査完了したチームから受付可とする。

・提出書類とコースに不備があった場合は、当該チームの審査を中止し他のチームの審査を行う。

・これにより提出書類とコースに不備があったチームは参加定員超過により、受付不可となる場合がある。

9. 参加費　：１人 1,700 円

Ⅲ. トレースの理念について

トレースは、フレッシュの簡易版と捉えることができます。

フレッシュにおいて掲げられた、「すべてのチームが同じ目的地に向かって走り、ナイスプレイスにて落ち合う」という趣旨・理念のもとに、フレッシュよりも緩やかな制限時間・休憩時間により、コースを設定し、観光ルートとチーム・ライドを楽しんで、ゴールを目指してください。申込・出走にあたり下記を確認願います。

1. トレースでは、フレッシュにおいて掲げられた「休憩やトラブル対応以外はひたすら走り続け、より長い距離を走る」という理念は課せられていない。

2. コース途中での輪行は不可である。

3. フェリーでの移動は、BRM に準じ、「自転車で走れる橋（道）が無い場合に限り、渡し船のように頻繁に便のあるフェリーを利用する」ことは認められる。しかし、コース設定上、やむを得ない場合に限定されるべきであり、「全行程を自転車で走りぬく」ことが大原則である。

4. チーム・ライドなので「皆で一緒に走ること」。
   1）意図的に数人が次の PC に先行して、調子の悪いメンバーを待つといった走行は不可である。
   2）「登りはペースが合わないから、各自のペースでバラバラに登る」といった走行は不可である。
   3）交通量の多い道では、安全ためメンバー同士、大きく車間を開けて走るといったことは可である。

Ⅳ. 申込から出走まで

1. チーム編成

1）参加資格

① 20 歳以上のサイクリストで編成されたチームであること。

② チーム編成：最低 2 台、最高 6 台の自転車で編成されたチームであること。

③ すべての参加者は、BRM/AJ 規定を熟読し理解していること。（https://www.audax-japan.org/brevet/brm/brm-part-regulation/）

④すべての参加者は、オダックス・ジャパンによるトレース趣旨・規定(後日 AJ ホームページに掲示予定)を熟読し理解していること。

・参考　AR 日本橋翻訳によるトレース趣旨・規定：本案内書 P.6

⑤ すべての参加者は、本書 トレース日本橋　参加案内を熟読し理解していること。（参加案内はホームページ下部の添付ファイル欄よりダウンロードのこと）

⑥ チームリーダーは、前述の③～⑤、および「トレース日本橋コース申請　判断基準」（p.5 ）を熟読し理解したうえで、コースを設定・申請をすること。

⑦ すべての参加者は、オダックス・ジャパンが定める“BRM 出走に必要な賠償付き保険（http://www.audax-japan.org/brm/insurance/）に加入していること。

⑧ すべての参加者は、AR 日本橋による「感染症防止策」を熟読し遵守すること。
https://www.ar-nihonbashi.org/measures-to-prevent-covid-19-infectious-diseases-by-ar-nihonbashi/

2）チーム編成に当たっての注意事項

① チームメンバーは上記受付期間にチームリーダーが申請しなければならない。

② チームはチームリーダーとオダックスランドヌール日本橋（AR 日本橋）との間で成約する。

③ チームは申請時点で最低 2 台の自転車、2 人のランドヌールが揃っていなければならない。

④ チームは 2026/3/15(日)までメンバーの入替（最低 2 台、最高 6 台の範囲内でのメンバー追加・減・変更。但し参加費振込後のメンバー減は除く）が可能である。

⑤ チームリーダーは途中で交代することはできない。

⑥ チームリーダーが出走できなくなっても、そのチームは依然として成立しており、チームリーダーは不出走(DNS)した扱いとなる。

⑦ AR 日本橋からの連絡、参加費の振込、差額の送金、差額の返金、ブルベカードの送付先はすべてチームリーダーを通じて行う。

⑧ 認定後のブルベカード及び完走証はチームメンバーに個別に返送される。

⑨ チームリーダーが死亡した場合、健常でない状態に陥った場合などやむを得ない場合のみチームリーダーの変更を認める。

⑩ チームリーダーが生存している場合、健常な場合、チームリーダーが権利を放棄したチームは解散となる。

2. コース設定と認定距離

1）コース設定

① コースは各チームが自由に組むことができる。

② Trece の基本的な精神はすべてのチームが同じ目的地に向かって走り、ナイスプレイスにて落ち合うことである。

③ 理想的なコースは、一方向へのストレートルートであるが、往復やループ状のコースも認められる。往復の場合は、往路、復路で同じ道を使ってはならず、AR 日本橋のトレースでは、コース内に往復区間が含まれることを一切認めないこととする［AR

日本橋ローカル ルール]。

[注] AR 日本橋トレースでは、「同じ道を使ってはならない」という判断基準を明確にするため、また、トレースの趣旨「理想的なコースは、一方向へのストレートルート」を鑑み、コース内に往復区間が含まれることを一切認めないこととする。

ただしチェックポイントをルート沿道の商店、コンビニエンスストア等に設けた場合、ルートから店舗入口までの間を往復することは認められる（ルートから店舗入口までの往復は、トレースのコースに参入されないことによる)。

④ 複数のチームが同じ出発地点(同一の商店・コンビニエンスストアなど)からスタートする場合、スタート時刻は 1 時間ずらして設定すること。

⑤ コース途中にチェックポイント(以下PC)を設定すること。

・チェックポイントは最低 3 箇所設け、それぞれの間隔は最低 50km 以上空けること。

・PC 間が最短距離になるようルートを設定すること

・自転車通行禁止の道路を迂回するため、PC 間が最短距離にならないことは認められる。

・危険防止のため、通行量が多い幹線道路を迂回するなどにより、PC 間が最短距離にならないことは認められない(ただし実際の走行において、その道路を迂回したルートを走ることは認められる）[AR 日本橋ローカル ルール]。

[注] Fleche Japon 規定の補足説明(https://www.audax-japan.org/wp01/wp-content/uploads/2017/09/6b4ea703091d2686bc72989b1e3972a2.pdf) p.9 の 2、3 行目に「コントロール間を最短ルートで結ぶのは原則ですが、交通量の多い幹線道路を避けるなど、走行の安全を考慮したルートは認められます。」とあるが、元オダックスジャパン会長の故稲垣照聡氏の見解を受け、AR 日本橋フレッシュならびに AR 日本橋トレースでは、以下の通り扱う。

・「ルート申請は、コントロール間を最短で結んだルートでなくてはならないが、実際の走行においては、交通量多い幹線道路避けるなど、走行の安全を考慮したルートを走ることは認められる」

・PC 間が最短距離にならなければ、PC の配置で対応のこと。

⑥ コース設定において、止むを得ず PC 間を最短距離で結ぶルートが取れない場合は、その理由を簡易キューシートの欄外に記載すること。

・例 1 ： 国道 XX 号線の○○地点から××地点が自転車通行禁止のため、県道 YY 号をルートとした。

・例 2 ： 県道 XX 号線の○○地点の崩落による通行止めのため、県道 YY 号線をルートとした。

・例 3 ： 県道 XX 号線の○○地点から××地点が冬期通行止めの為、県道 ZZ 号線をルートとした。

⑦ コース設定の際、Ride With GPS(以下、RWG)の目視確認において、ショートカットできるようなルートがある場合は、ショートカットと思われるルートについて、別途 RWG によるコース図を作成し、申請ルートの方が短いことを証明すること（簡易キューシートの欄外に記載のこと)。

⑧ スタート、各 PC、ゴールでは場所と通過時刻の証跡を入手すること。 証跡は原則として商店、コンビニエンスストア等のレシートとするが、下記での代用を認める。

・ 第 3 者により記入された通過証明書（ただしその第 3 者は通過地点との相関関係がある者とする。 例： スタート・通過地点のホテルのフロントスタッフ、通過地点の観光案内所のスタッフなど)。

・ またはデジタルカメラ(正しい日付・時刻が設定されているもの)・スマートフォンによる、通過地点のランドマークとメンバー全員・自転車が写った写真と通過時刻の掲示（メンバー全員・自転車を 1 枚の写真に収めて撮影することが難しい場合は、写真が複数枚になることを認める。ただし複数枚の写真の撮影時間に大きな差異がある場合は証跡として認めない)。

⑨ コースの申請は、RWG によるもののみを受付ける。

・ RWG のコメント機能(POI (point of interest))により PC の位置を明示すること。

・ RWG の有料会員でない場合は、RWG のコメント機能(POI 機能)が利用できない。その場合は、スタートからゴールまでを示した RWG と、各区間ごとにルートを分割した RWG の 2 種類を作成し、それらのルートの URL をご提示すること。

・ルートを分割した RWG を提出する際は、PC で分割すること。

・ コースの申請が RWG によるものでない場合、また上記の 4 点を満たしていない場合は、参加申込みを受付けない。

2） 認定距離

① トレースの完走の認定を得るには最低 200km、最長 360km をルートを走行する必要がある。

3. 出走、ゴール、ナイスプレイス受付

1） 出走時間

① 2026/4/4(土)0:00(≒金曜の深夜)から 4/5(日)深夜 0:00*までとする。

*最低認定距離 200km のルートを平均時速 20km で走行するプランした場合のスタート時間

② 出走時間は上記の日時内であればいつでも構わない。

③ 出走時間は申込の時点で申請のこと。

④ 出走時間の変更申請は 2026/3/15(日)までとする。

2) ゴール

①各チームから提出されたルートに記載されたゴール地点となる。実際にはより遠くに到達できる可能性があり、またより短い距離しか走れない可能性もある。いずれにせよ、最低 200km、最長 360km であれば、認定対象となる。

② 各チームはゴールの後、指定されたナイスプレイスにて受付時間中にゴール手続きを行うこと。

3) ナイスプレイス受付(郵送でのゴール手続き希望チームを除く)

① ナイスプレイスの受付は、2026/4/5(日)9:00 - 11:50 とし、11:00 までにゴール手続きの申請を行なうこと。

② 必ずメンバーの最低 1 人がナイスプレイスでゴール手続き行うこと。その際、人数分のブルベカード、スタート、各 PC、ゴールの通過証明(レシートなど)一式を揃えて提出すること。

③ ゴールしてもナイスプレイス受付に到達しなかった、間に合わなかったチームは認定対象とならない。

4. 申込・参加費の送金

1) 申込

① 申込期間 (2025/11/01(土) - 12/31(水)) 中に、チームリーダーは申込をしなければならない。

② 本トレースへの参加には、最低 2 台の自転車、2 人のランドヌールが必要であり、参加申込時に、下記を申告しなければならない。

a) 参加者リスト : チーム名、メンバーの氏名・住所等を記載

b) 簡易キューシート : スタート日時、走行予定コースのスタート・各 PC・ゴールの施設名、住所、区間距離、積算距離

c) RWG の URL

③ チームリーダーは参加申請後にもメンバーを募集することはできるが、参加申請時点で 2 人・2 台のトレース参加チーム要件を満たしている必要がある。メンバー募集が完了していない、チーム結成見込みでの参加申請は認められない

2) 申込方法 : 電子メールにて受付。(所定の申込用紙 (エクセルファイル)を送信)

① 申込用紙(エクセルファイル)の取得方法 : ホームページ トレース日本橋 2025 ページの最下部 添付ファイル欄に掲示。

② 電子メール送信先 : info＊ar-nihonbashi. org
(＊を@に置き換えること)

③ 申込用紙の内容 : 参加者リスト、簡易キューシート、RWG の URL

④ その他

- 申込用紙(エクセルファイル)は 2027 年版を使用すること **(申込用紙の書式を一部変更しました)**。
- ファイル種類は xls 形式(Excel97-2003 ブック)、xlsx 形式(Excel ブック) どちらでも可。
- エクセルファイルに読み取りパスワードを設定のこと (読取パスワードを別メールにて連絡のこと。パスワード設定方法は「エクセルパスワードのかけ方」でネット検索のこと)。
- メール件名は、Trace ＋ チーム名 とすること。
(例 Trace AR 日本橋チーム)

3) 申込に際しての注意

AR 日本橋はトレースを毎年開催することを目指しており、そのため下記の運営によりトレースを実施します。

① 参加者が一堂に会しての懇親会は実施せず、ナイスプレイスでの歓談の場を提供するのみとする(通常のブルベゴール地点のイメージ)。

② ナイスプレイス地点「国立オリンピック記念青少年総合センター」へ自転車で来場する場合は、センター内の駐輪場を利用のこと。

③ ナイスプレイス地点「国立オリンピック記念青少年総合センター」は飲食禁止(ただし、アルコール以外の蓋付きの飲料のみ可)のため、予め朝食を済ませてから来場のこと。

④ ナイスプレイス地点への荷物の事前送付は受け付けない。希望者は各自で宅急便店頭受取りサービス等を利用のこと。

⑤ 完走メダルの販売はない (完走者には ACP より認定証が発行される)。

⑥ 参加人数が 120 人(フレッシュ・トレースの合計)を超過した場合は記念グッズを作成予定。

⑦ 記念グッズを作成した場合は、各参加者宛に認定証とブルベカードを送付(2027 年 1 月頃を予定)する際に、併せて送付予定。

4) 申込後の予定

① コースの精査: 2025/11/01(土)- 2026/3/05(木)

② 受付確定: 2025/11/01(土)～2026/3/05(木)

③ 参加費入金: コース精査完了後～2026/3/12(木)

④ メンバー変更期限 : 2026/3/15(日)

⑤ ブルベカード送付: 2026/3/22(日)

5) 参加チームの決定

「コース設定と認定距離」に関する案内(p.2)を熟読・理解をせずに、明らかに不備のあるコース設定をするチームが多いことから、下記により、参加チームを受付することとする。

① 参加申込のあった順に提出書類の確認とコースの審査を行い、審査完了したチームから受付可とする。

② 提出書類またはコースに不備があった場合は、当該チームの

審査を中止し他のチームの審査を行う。

③ これにより提出書類またはコースに不備があったチームは参加定員超過により、受付不可となる場合がある。

6) 参加費の送金

① 参加が確定したチームは、申請した参加メンバー分の参加費 AR 日本橋指定の口座に送金しなければならない。

② 参加費の送金期日はコース精査完了後～2026/3/12(木)とする。

③ 期日中に参加費の送金を行わなかったチームは出走権を失う。失格チームが発生しても、Ⅳ. 4. 5)参加チームの決定 にて選に漏れたチームが繰り上がることはない。

7) コースの精査と変更

① 2025/11/01(土)- 2026/3/05(木)に提出書類の確認とコースの審査を行う。

② 審査完了した(不備や是正点の無かった)チームから受付可とする。

③ 提出書類とコースに不備があった場合は、当該チームの審査を中止し他のチームの審査を行い、申請のあった全チームの審査完了後に、当該チームの再審査を行い不備の是正連絡を行う。

④ AR 日本橋が申請コースを審査し、問題点の有無や競合するコースを提出した他のチームの存在を判断して、必要に応じてコースの是正や出走時間の変更等を指示する。

⑤ コースの是正や出走時間の変更等を指示されたチームは、訂正後の簡易キューシートと RWG の URL を提出すること。

⑥ 上記問題点の修正を行わず、是正後のコースを提出できなかったチームは受付不可として扱う。

8) チームの確定

① メンバー変更が発生した場合は 2026/3/15(日)迄に AR 日本橋に申請すること。

② [Ⅳ. 1.チーム編成]にあるようにチームリーダーの変更は行えない。チームリーダーは常にエントリーされ、出走するか、出走しないか、出走してリタイアするかを選べるだけである。

③ AR 日本橋とチームの連絡に際しては常にチームリーダーが窓口となることとする。チーム内に代理者を置いたとしても、その仲介はチームリーダーが行わなければならない。

9) チームメンバー変動による過不足金の精算

① メンバー追加による参加費の不足が発生した場合、差額を AR 日本橋の指定口座に送金すること。

② メンバー減による参加費の過払いが発生した場合、差額を AR 日本橋より返金することとする。ただし、その際の送金手数料は各チームの負担とする。

③ 参加費の入金・返金はチームリーダーに対して行う。

④ 過不足金の精算は申請後 1 週間以内に行うこととする。

⑤ 上記不足分の精算を行わないチームはゴール後、ナイスプレイスに到達しても認定されない。

10) ブルベカードの送付

① [Ⅳ. 4. 8) チームの確定]によって確定したチームのチームリーダーに対して、AR 日本橋はブルベカードを送付する。

② ブルベカード送付予定は 2026/3/22(日)とする。

③ 3/15(日)以後は、チームのメンバーが出走不能になったとしても不出走(DNS)として扱われ、以後メンバーの補充はできない。また参加費もこれ以後は返金されない。

Ⅴ. 出走からゴールまで

1. トレースの催行決定

1) 気象状況や自然災害の発生によって開催を中止することがある。

2) その場合は、2026/4/3(金) 6:00 迄にホームページにて発表する。

3) 催行中止の場合でも参加費は返金しない。

2. 出走

1) ブルベカードを受け取ったチームは、申請日時に申請場所より出走を開始する。

2) 予め申請したスタート及び PC ごとに証跡を取り、ブルベカードに通過時間を記入し、最終的な到達距離を記入してナイスプレイス受付にて提出すること。

3) 最低でも 2 人のメンバーがゴールすること。6 人で出走し 4 人がリタイアの場合、ゴールした 2 人が認定される。ゴールが 2 人以下の場合は認定されない。

3. ゴール

1) ナイスプレイス地点「国立オリンピック記念青少年総合センター」へ自転車で来場する場合は、センター内の駐輪場を利用のこと。

2) ナイスプレイス地点「国立オリンピック記念青少年総合センター」は飲食禁止（ただし、アルコール以外の蓋付きの飲料のみ可）のため、予め朝食を済ませてから来場のこと。

3) ナイスプレイス地点への荷物の事前送付は受け付けない。希望者は各自で宅急便店頭受取りサービス等を利用のこと。

Ⅵ. 認定

1. 暫定結果の公開

1) 開催日後 5 日以内（予定）に公開するので、チームリーダーは必ず、内容を確認すること。

2. 認定証とブルベカードの送付

1) オダックス・ジャパンおよび Audax Club Parisien での認定手続き完了後に送付する(2027 年 1 月頃を予定)。

[付録] トレース日本橋 コース申請 判断基準について

提出書類および申請コースは、下記の基準にもとづき確認・審査を行う。

1. 提出書類

1) エクセルファイルは 2027 年版であること。
2) ワークシートの様式を変更していないこと。
3) 未記入の箇所がないこと。
4) アルファベット・数字の入力箇所の入力文字が半角であること。

2. 申請コース

1) 簡易キューシート(cs)、と Ride With GPS(RWG)のコース・距離等が一致していること。

［確認項目］

- 区間距離、累計距離
- スタート、各 PC、ゴール地点の名称と住所
- 備考欄へのゴール地点の明示

2) RWG の内容

［確認項目］

- RWG のコメント機能により PC の位置が明示されていること。
- コースが複数の RWG データに分割される場合は、RWG の分割される箇所が PC であること。

3) PC 間が最短距離であること

- PC 間の最短距離のルートが採用されていること
- 交通量が多い道路を迂回する」などの理由により、PC 間が最短距離となっていないこと（ただし自転車通行禁止の場合は迂回可能）
- 止むを得ず PC 間を最短距離で結ぶルートが取れない場合は、その理由が簡易キューシートの欄外に記載されていること。
- RWG の目視確認において、ショートカットできるようなルートがある場合、ショートカットと思われるルートについて、別途 RWG によるコース図を作成し、申請ルートの方が短いことを証明されていること（簡易キューシートの欄外に記載されていること）。

4) 往復するルートが含まれていないこと

5) 総距離は 200km 以上、360km 以下であること

・総距離が 200km ギリギリもしくは 360km ギリギリであった場合、「3) PC 間が最短距離であること」で不備があった場合、その是正の結果、総距離が 200km を下回る、もしくは 360km を超過する場合があるので注意のこと。

6) チェックポイントは最低 3 箇所設けられ、それぞれの間隔は最低 50km 以上空いていること。

7) 出走時間が、2026/4/4(土)0:00(≒金曜の深夜)から 4/5(日)深夜 0:00*までの間であり、ナイスプレイスの受付締切時間である、2026/4/5(日) 11:00 までにゴール手続きの申請が行われていること。

*最低認定距離 200km のルートを平均時速 20km で走行するプランした場合のスタート時間

Ⅶ. 参考 AR 日本橋翻訳によるトレース趣旨・規定

－TRACES NATIONALES – INTRODUCTION－

The Trace Nationale is the “younger sister” of the Fleche Nationale.

The Trace is run parallel to the Fleche, on a shorter distance (at least 200 km), and with a possible overnight stop.

The purpose of the Trace is to choose a tourist route and to ride it in daytime hours.
A good team spirit is the key of success !

Teams can start and finish on the same day, or they can start on the day before the meeting, make an overnight stop, and arrive the next day.

Although it is shorter than the Fleche, and does not impose night riding, the Trace remains challenging, especially at Easter, when weather conditions are often rough, and we still lack training.

Upon arrival, the participants in both Fleche and Trace meet and celebrate together.
Organizing a Trace at the same time as the Fleche brings more riders together, and makes the party even greater.

－ トレースの紹介 －

トレースは、フレッシュの妹分です。

トレースは、フレッシュと並行して行われるもので、フレッシュよりも短い距離(最短で 200km)で、宿泊を挟んでの走行が許されるものです。

トレースの目的は、観光ルートを選択し、そのルートを日中の時間帯に走ることです。

仲間と素晴らしい協調の心を持つことが、成功[完走]の鍵[秘訣]です。

参加チームは、スタートしてその日のうちにゴールするルートを設けても構いませんし、またナイスプレイスでのゴール受付日の前日にスタートし、宿泊を挟んで翌日にゴールへ到着するルートを設けても構いません。

フレッシュよりも短い距離であり、夜間走行が課せられてはいませんが、気象条件がしばしば厳しくなるイースターの時期に開催され、まだ我々のトレーニングが不足していることから、トレースは依然として厳しいものです。

ゴールへ到着したら、フレッシュとトレースの参加者は、一同に会して完走を祝います。

トレースとフレッシュを同時に開催することにより、より多くのサイクリストが集い、その集いはさらに盛大になるのです。

－TRACES NATIONALES RULES Rules for Riders －

1. There are 2 to 6 bikes per team.

2. All team members ride the whole distance (they don't take turns).

3. Teams choose their start place. Their finish place has to be the meeting place.

4. Minimum distance 200 km, maximum distance 360 km.

5. Start is possible from the day before the meeting, 00h00 (can be later).

6. There is no minimal duration between start and finish.

7. During the Trace, the duration of the rest stops is not limited.

8. Deadline to arrive at the meeting is specified by each organizer.

9. Teams must show up at the meeting to hand their cards over to the organizer.

10. To be homologated, at least 2 bikes of the same team must finish.

11. A high-visibility vest must be worn at night or other low-light conditions.

12. Each rider receives a Trace card. A minimum of 3 controls, spaced at least 50 km apart, not including the start and finish controls, must be noted on the riders cards.

－ トレース 参加者規則 －

1. 最低 2 台、最高 6 台の自転車で構成されたチームであること。

2. すべてのチームメンバーはすべての行程を走らなくてはならない(途中交替はできない)。

3. 参加チームは自由にスタート地点を選ぶことができる。ゴール地点はナイスプレイスでなければならない。

4. ルートの最短距離は 200km で、最長距離は 360km とする。

5. スタートは、ナイスプレイスでのゴール受付日の前日の午前 0 時とする(遅らせてもよい)。

6. スタートからゴールまでの最低走行時間の決まりはない。

7. トレースにおいては、休憩時間の長さの制限はない。

8. ナイスプレイス地点への到着時間の制限は、各主催者により指定される。

9. チームはナイスプレイス地点に出向いて、主催者にトレース・カードを提出しなくてはならない。

10. 完走認定を受けるためには、チーム内で最低 2 台の自転車が完走しなくてはならない。

11. すべてのチームメンバーは、夜間または薄暗い状況においては、高視認性のベストを着用しなくてはならない。

12. すべてのチームメンバーは、トレース・カードを受け取らなくてはならない。ルートには、スタートとゴールを除き、最低 3 箇所のコントロール(チェックポイント)を設けなくてはならない。コントロール(チェックポイント)は、それぞれ最低 50km 以上離れており、ブルベカードにそれが記述されていなくてはならない。

Ⅸ. 感染症拡大の場合の対応

1. **緊急事態措置、まん延防止等重点措置が発令された場合**
   - 政府・自治体などにより、緊急事態措置区域及び重点措置区域への移動、不要不急の都道府県間の移動を控えることが要請された場合は、イベントの催行を中止します。

2. **緊急事態措置、まん延防止等重点措置は発令されていないが、感染が再拡大した場合**
   - ゴールの郵送受付を設けるなどの対応を行ったうえで、イベントを催行します。